

お題「予防保全について」

「予防保全」って？

西田：今月も始まりました、「ITESの一言ラジオ」前回は、永田くんが「電子部品」について街づくりに例えてわかりやすく説明してくれましたね。

永田：ありがとうございます！街に例えると、本当に理解しやすくして、自分でも話していて楽しかったです（笑）

西田：それじゃあ今日のテーマは、いよいよ設備の世界に踏み込もうか！

現場でもよく聞いたと思うけど、「予防保全」について改めて基礎から語ってもらおうかな！

永田：はい！予防保全は、故障してから直すのではなく、故障する前に気づく・対策しておく、ということだと理解しています！

人間でいうと健康診断に近いイメージでしょうか・・

トラブルの兆候を見逃さず、事前に対処することで大きな故障を防ぐことができます！



西田：いいね！設備の場合は特に「突然止まる」と現場が大変なことになるから、計画的な点検や部品交換がとても重要になるんだ！

【予防保全のポイント】

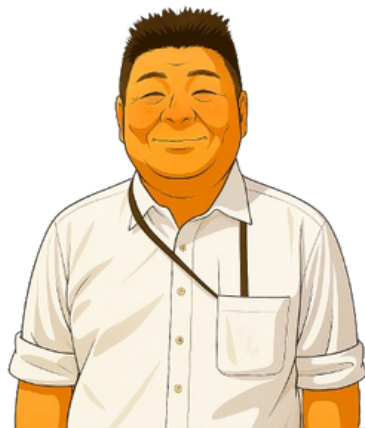
永田：実際に学んだ内容をまとめると、予防保全には「時間ベース」と「状態ベース」の2つの考え方があると理解しています。

・ 時間ベース：稼働時間や年数で決まった周期で交換する
・ 状態ベース：温度・振動・電流値などの「変化」を見て判断する

人間でいうと、時間ベースは「定期健診」、状態ベースは「日々の体調チェック」に近いと感じました！

西田：そうだね！特に最近ではセンサーやICが進化している、「状態ベース」での予防保全の質がどんどん進んでいるんだ！

異常を「予兆」の段階で見つけることで停止時間の短縮やリスク低減につながるんだよ！



次回のテーマ

置き換え修理について

永田：今回の学びを通して思ったのは、「予防保全とは、作業ではなく「姿勢」なんだ」ということです。

最初は、「故障を防ぐための点検」、くらしい理解だったのですが、その裏側には設備が抱えている「小さな変化に気づく」という、深い考え方がありました。

温度変化や異音など「微妙な違和感」こそが、設備からのメッセージなんだと知りました。

「まだ動いている」から「長く動かすには今何をすべきか」という視点に切り替えることが大切なんだと感じました。

西田：良い視点だね！では次回は、「置き換え修理」について考えてみようか！

部品が廃番になったとき、代替りの製品をどう選ぶか、また我々アイテスがどんなことでお客様の力になれるのか。注意点など含めて考えてみよう！

永田：はい！とても現場感のあるテーマで楽しみです！

部品の互換性や注意点など、しっかり学んでおきます！

今日の一言

「予防保全」とは、作業ではなく、変化に気づく眼を磨くこと。」